

## 3R(資源循環)

### 基本的な考え方

社会の一員として法令を遵守しつつ、資源を有効活用するために、会社から発生する廃棄物は、最大限「ゼロ」に近づける“ゼロエミッション”を目標に、「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」活動を積極的に推進しています。

### 2015年度の目標と実績

2015年度は、再生資源の適正な活用に関する要綱(愛知県)を遵守し、発生量の削減とリサイクルを推進してきました。結果、直接埋立の廃煉瓦、間接埋立の汚泥といったリサイクル困難な副産物の「安全」「安心」「安定」な新たなリサイクル用途が見つけられず、目標に届くことができませんでした。今後は、副産物発生源での選別・仕分けをさらに追求、管理を強化するとともに、リサイクル技術の開発を進め、資源の有効活用に努めていきます。

項目	2015年度目標	実績
直接埋立量	2,400t/年 以下	3,393t/年
間接埋立量	3,000t/年 以下	2,963t/年

### 社内副産物を活用した高強度研削材「ASショット」の量産設備を新設

ASショットは社内副産物である電気炉スラグから作る「環境にやさしい研削材」です。既存品に比べて粉塵発生量が少なく、繰り返し使用が可能のため、スラグを活用した高付加価値商品として塗装の下地処理、さび落とし、金型洗浄等の用途において好評を得ています。

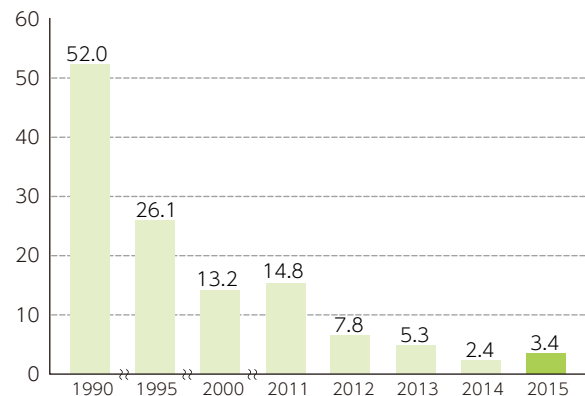
今後、塗装の高寿命化、耐久性向上のための下地処理としてブラストでの工法が増えていくと予想されます。そのニーズに対応すべく、量産のための技術を確認し、当社のリサイクル技術の成果として拡販を目指していきます。

### 副産物処理のBCM、BAP\*

副産物の「安全」「安心」「安定」な処理のために、副産物処理の複数、複社化の推進、代替対応等、BCM、BAP化に努めていきます。

\*BCM : Business Continuity Management  
BAP : Backup Action Plan

直接埋立量の推移 (千t/年度)



間接埋立量の推移 (千t/年度)

